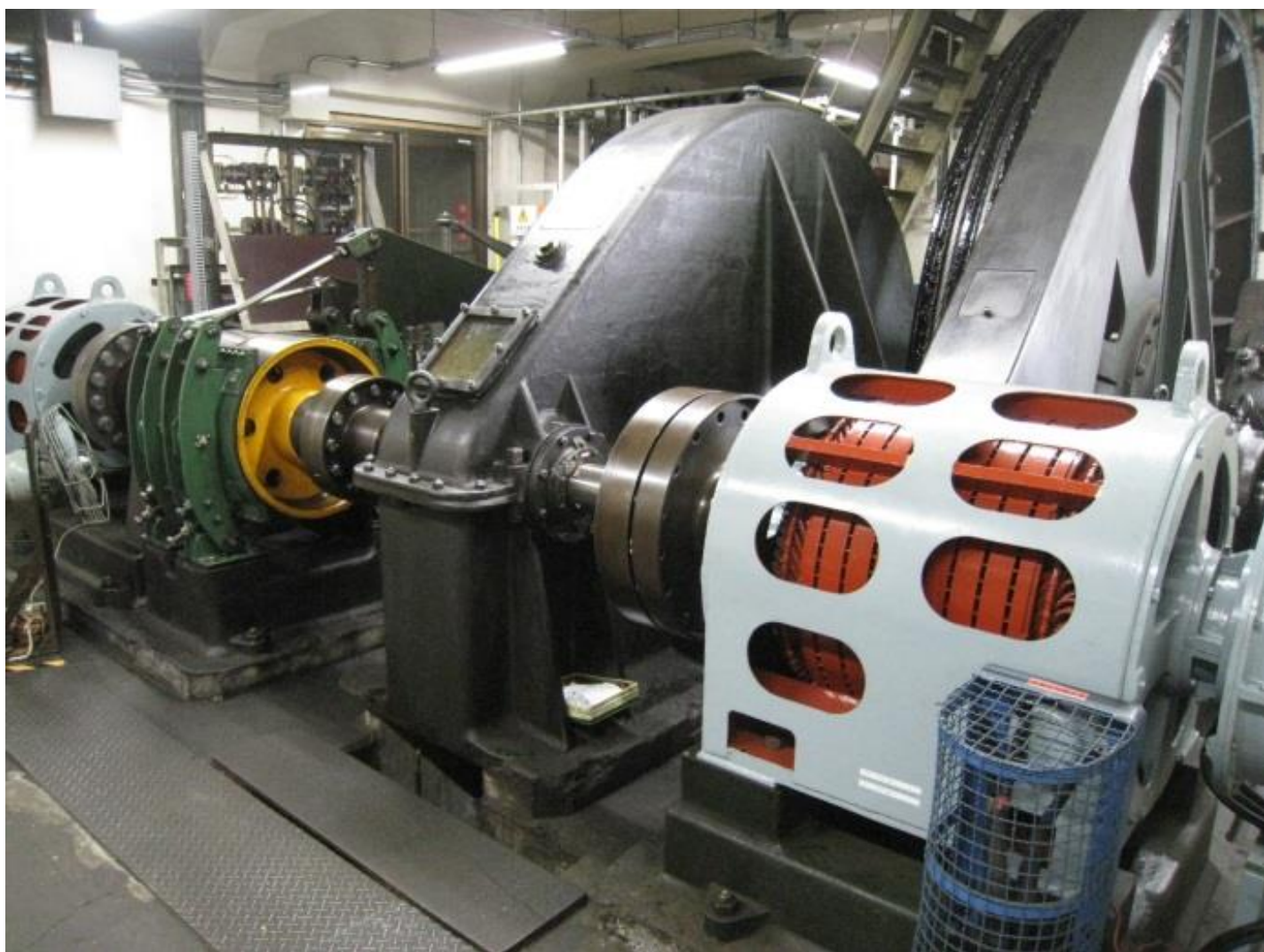


2023年 安全報告書



大山観光電鉄株式会社

目 次

1	経営責任者からのメッセージ	1
2	安全基本方針等	2
	【1】 当社の安全基本方針	
	【2】 当社の安全行動規範	
3	安全管理体制と方法	2～4
	【1】 安全管理体制	
	【2】 安全管理方法	
	【3】 経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等	
	【4】 従業員との対話	
4	安全目標と安全重点施策	4
	【1】 安全目標	
	【2】 安全重点施策	
5	輸送の安全確保のための取り組み	4～7
	【1】 安全対策工事等の実施	
	【2】 教育・訓練の実施	
6	事故等の状況と再発防止の取り組み	8
	【1】 鉄道運転事故等	
	【2】 災害（地震や暴風雨、豪雪など）	
	【3】 輸送障害（30分以上の遅延や運休）	
	【4】 インシデント（事故の兆候）	
7	行政指導等に対する措置の状況	8
8	新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み	8
	【1】 駅における対策	
	【2】 車内における対策	
	【3】 当社従業員の対策	
9	お客さま等とのコミュニケーション	9
	【1】 関係機関との協働	
	【2】 お客さまの安全確保	
	【3】 お客さま等からのご意見・ご要望	
	【4】 その他	

1 経営責任者からのメッセージ

「2023年安全報告書」の公表にあたり

平素より、大山ケーブルカーをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。この「安全報告書」は、鉄道事業法第19条の4項に基づき、安全輸送に対する当社の取り組みについてご報告するものです。

当社は、小田急グループの『お客さまの【かけがえのない時間】と【ゆたかな暮らし】の実現に貢献します』というグループ経営理念、および当社の『大山それは“出会い”の山“ふたたび廻り会える喜びをあなたに”それが私たちの願いです』という社是に基づき、輸送の安全を第一とし、大山へお越しのお客さまに多くの「上質と感動」をお届けすることを心がけております。また、企業の社会的責任を果たすために、「法令遵守」をはじめとするコンプライアンスの観点で、日々の業務に関して基本に忠実に、ルールを守り誠実に行動することを徹底し、取り組んでおります。

当社では2014年から2017年にかけて、橋梁や土留擁壁の補強、全線のレール・枕木の交換および電気設備の改修工事など、大規模な設備更新工事を実施するとともに、2015年には50年ぶりにケーブルカーの車体を更新いたしました。その後も、自然災害リスクへの対応を含む安全関連の設備投資を継続して実施するとともに、最近では新型コロナウイルス感染症対策を行うなど、従業員一丸となって安全で安心な運行に取り組んでおります。

結びに、この「2023年安全報告書」をご一読いただき、当社の【安全への取り組み】について、皆さまの率直なご意見、ご助言などを賜りますようお願い申し上げます。

2023年9月

大山観光電鉄株式会社

代表取締役社長 齋藤 謙司

2 安全基本方針等

【1】当社の安全基本方針

- (1) 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に優先する
- (2) 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める

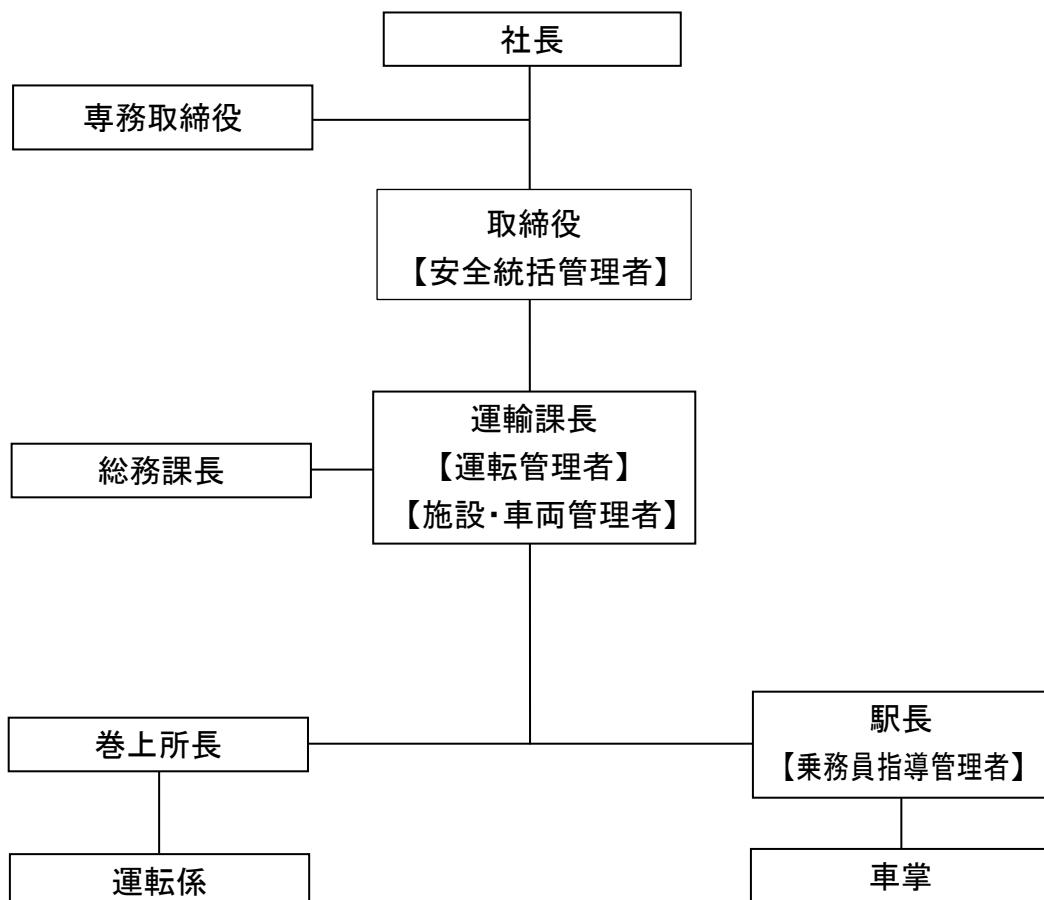
【2】当社の安全行動規範

- (1) 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める
- (2) 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速、正確に伝える
- (3) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する

3 安全管理体制と方法

【1】安全管理体制

当社は、以下の安全管理体制の下、各々の役割に応じた機能を発揮することでお客さまの輸送の安全を確保いたしております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取扱いの安全性および相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施および各管理部門を統括管理いたします。
運輸課長 【運転管理者】 【施設および車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定および変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係および乗務員の育成ならびに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設および車両の維持管理に関する事項を統括いたします。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、駅務・車掌の資質の維持に関する事項を管理いたします。
巻上所長	運転管理者の指揮の下、運転の資質、ならびに施設・車両の維持に関する事項を管理いたします。

【2】安全管理方法

(1) 安全マネジメント体制

安全管理規程において、社長を最高責任者とし、安全確保に関する業務を統括する「安全統括管理者」を中心に、月1回安全マネジメント会議を開催し、監督官庁よりの情報発出はもとより安全輸送に関わる事項の審議取りまとめから対策を講ずるまで展開を図ってまいりました。

輸送障害等の対応については、安全マネジメント会議において多面的な分析と対策の協議を行うなど全社一体の取り組みを実施し、その成果が着実に全社員まで浸透するよう安全管理に反映させてまいりました。

(2) 安全文化の醸成

安全マネジメント体制の確立のため、ヒヤリハット情報の収集のための仕組みを整備し、ヒヤリハットの重要性を再認識した安全文化を醸成する指導と展開に取り組んでまいりました。

その結果、ヒヤリハットを報告することの重要性・必要性が社内に浸透してきています。

【3】経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等

経営責任者である社長および安全統括管理者は、定例的に現業巡視はもとより年度当初や安全総点検時等に、安全に関するメッセージを発信し、全社員までの浸透活動を行っております。

【4】従業員との対話

企業の果たすべき社会的責任を履行するため、コンプライアンスに関する社内教育を実施するとともに、経営責任者の現業巡視等の際に、コンプライ

アンスに関するトップメッセージを発信しています。

4 安全目標と安全重点施策

【1】安全目標

2022年度の安全目標は【安全を最優先とした柔軟な判断と行動の実践】および【インシデント・労働災害ゼロ】としました。近年頻発化・激甚化している自然災害に一人ひとりが安全を最優先にその時々に応じた柔軟な判断と行動ができるよう準備を行い、いざという時に実践するとともに、運転事故・輸送障害・労働災害のゼロを達成するよう、この一年間取り組んでまいりました。

【2】安全重点施策

2022年度の安全目標を達成するため、以下の安全重点施策を定め、PDCA サイクルを活用して安全マネジメント会議で進捗状況を確認し、取り組みました。

- (1) 規程・基準類の厳守と基本作業の徹底
指差確認称呼および復唱の徹底
- (2) 「未然防止」「再発防止」に対する取り組み
特殊作業時の事前教育による作業確認、取扱いミス.analysis力向上と再発防止対策の検討、教育・訓練の実施
- (3) 新型コロナウイルス感染防止の徹底
従業員の健康保持とお客さまへの協力依頼
- (4) 災害に強い設備・体制の構築
異常時総合訓練の実施、運転教育・車掌教育の実施、災害・異常気象時の点検強化、安否確認訓練の実施、台車・巻上機など老朽設備の点検強化
- (5) 業務の効率化
目的を意識した作業への取り組み、作業効率の改善
- (6) 関係機関・お客さま等との協働
各種行事への対応、ホーム出場・待機時お客さまへの声かけ・注意喚起の実施、お客さまからの要望意見の反映、声かけ・サポートの実施
- (7) 安全努力目標の達成
インシデント・労働災害ゼロ達成のための教育・訓練および設備投資

5 輸送の安全確保のための取り組み

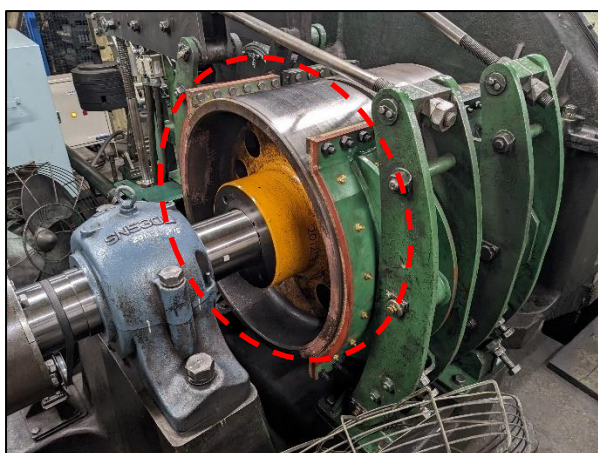
【1】安全対策工事等の実施

- (1) 2022年度の実績

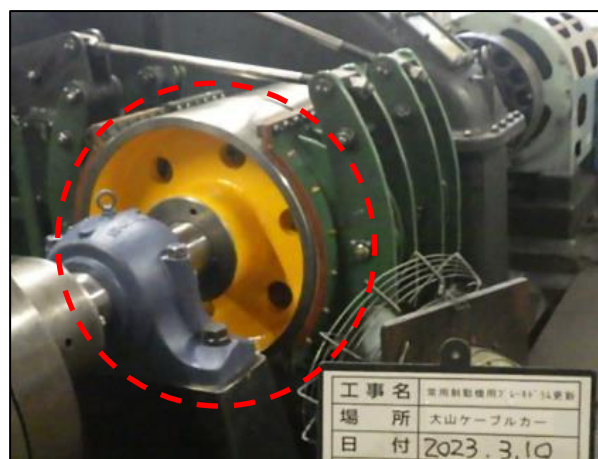
総額約20百万円を投資し、主に下記の工事等を実施しました。

①ブレーキドラム更新工事

交換時期が到来した常用制動機ブレーキドラムを更新する工事を実施しました。



施工前



施工後

②落石防護工事

ケーブルカー沿線の斜面に設置した落石防護金網の内側で斜面の崩落が発生したため、崩落した土砂を除去し、落石防護金網を修復・補強するとともに、落石防護柵を新設しました。



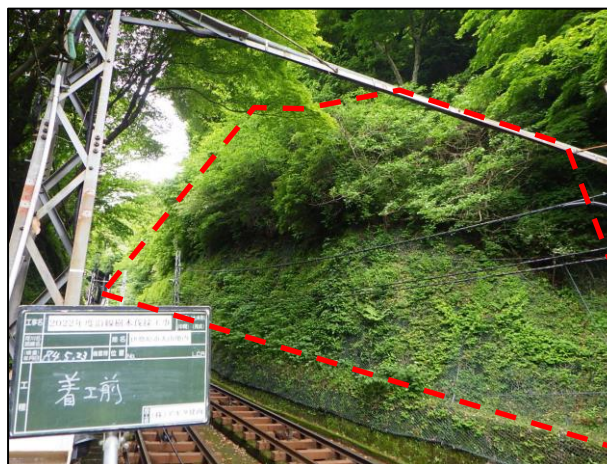
施工前



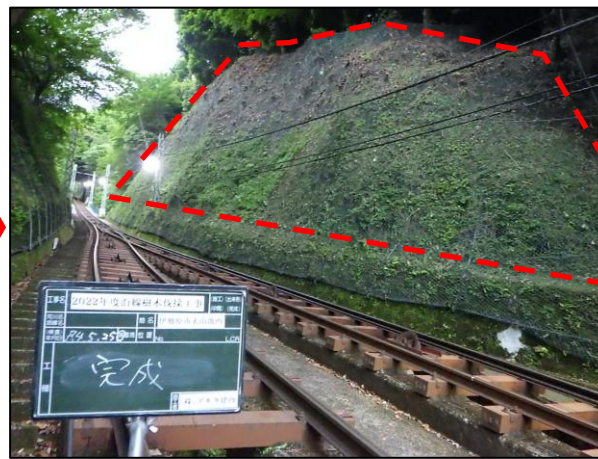
施工後

③沿線樹木伐採工事

台風発生時等の倒木による運行支障リスクの軽減を図るため、線路に近接する斜面上の樹木を伐採しました。



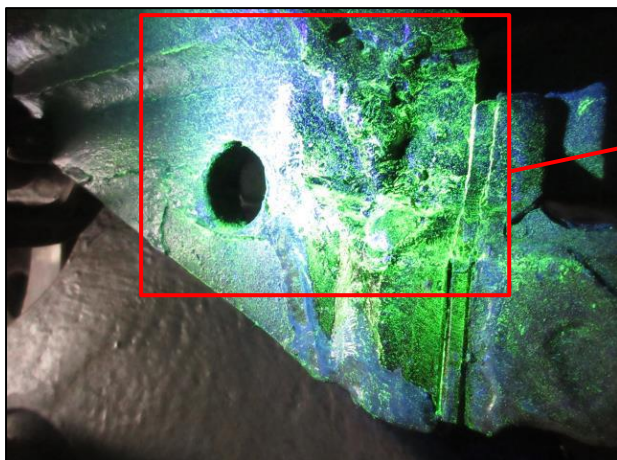
施工前



施工後

④車両台車枠磁粉探傷

車両台車枠の健全性を確認するため、探傷検査を実施しました。検査の結果、運行に支障を及ぼす致命的な欠陥はなく、発見された軽微な亀裂は溶接により補修しました。



溶接補修後

(2) 2023年度の計画

総額約10百万円を投資し、主に下記の工事等を実施いたします。

- ①巻上機器健全度調査
- ②誘導滑車更新工事
- ③照明設備更新工事
- ④大山寺駅ホーム柵延伸工事

【2】教育・訓練の実施

(1) 社内教育・訓練

①異常時総合訓練

近年頻発化・激甚化している自然災害に伴う事故発生時の対応力を向上させるため、大型台風通過後のケーブルカー走行中に、避難誘導が困難な場所で土砂崩壊が発生したことを想定した異常時総合訓練を実施いたしました。

本社員および現業員が参加し、異常時の連絡通報、お客さまの避難誘導、救護処置等の訓練を行い、迅速な対応が図れるよう従業員一丸となって取り組みました。

今後も、訓練を重ねて異常時の迅速な対応と質の向上を図ってまいります。



異常時総合訓練

②事故処置訓練

現業員の個々の事故対応力を向上させるため、ケーブルカー走行中、線路上に障害物を発見し非常停止させたことを想定した、事故処置訓練を実施いたしました。

訓練終了後は、個々の訓練参加者に対する評価を行うとともに、職場ごとに意見交換を行い、事故発生時の対応方法の改善を図っております。



事故処置訓練

③その他の社内教育・訓練

- ・ 停電発生時の取扱い等
 - ・ ヒヤリハット情報の収集・活用および教育
 - ・ 運転教育、車掌教育
 - ・ 安否確認訓練
 - ・ 防災備蓄品確認・補充
- その他、年間教育訓練計画に基づき実施

④社内教育・訓練の主たる実績と反映

ヒューマンエラー防止と異常時を想定した各種教育・訓練を実施してまいりました。

ヒューマンエラー防止に繋がるヒヤリハットの収集を積極的に行った結果、毎年、ヒヤリハット情報が報告されるようになり、迅速に防止策を策定できるようになりました。

また、各種訓練は、迅速な異常時対応と復旧を主眼に実施し、安全かつ迅速に復旧できるよう、従業員一丸となって研鑽に努めてまいりました。

(2) 社外研修

①小田急グループ研修（監督者研修）

小田急グループ全体で実施している研修に参加し、その研修内容は、あらためて社内教育で従業員へ周知、反映いたしました。

今年度も、種々の研修を計画、受講して一層の安全マネジメントの充実へと反映させてまいります。

6 事故等の状況と再発防止の取り組み

【1】鉄道運転事故等

2022年度、鉄道運転事故等の発生は、0件でした。

【2】災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2022年度、自然災害に伴う事故等の発生は、0件でした。

【3】輸送障害（30分以上の遅延や運休）

- (1) 降雨量が規制値を超えたため運転見合せ10件（計64本の運休）
- (2) 沿線周辺への落雷で運転見合せ1件（計2本の運休）

【4】インシデント（事故の兆候）

2022年度、インシデントの発生は、0件でした。

7 行政指導等に対する措置の状況

2022年度、監督官庁である国土交通省からの行政指導はありませんでした。

8 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

※2023年5月7日をもって対応を終了しています。

【1】駅における対策

- (1) 駅窓口へのアルコール消毒液の設置
- (2) 駅窓口への飛沫感染対策用ビニールカーテンの設置
- (3) 手すり等の定期的なふき取りと消毒

【2】車内における対策

- (1) 密集を避けるための1列車あたりの乗車人員制限（定員の約5割～約7割程度）
- (2) 乗務員室と客室との間の飛沫感染対策用パーテーションの設置
- (3) 窓開け・送風機による車内換気
- (4) 手すり等の定期的なふき取りと消毒
- (5) お客さまへのマスク着用・車内での会話を控える等、車掌によるアナウンスの実施

【3】当社従業員の対策

- (1) 出勤前・始業前の検温および勤務中のマスク着用、手洗いの徹底
- (2) 事業所内へのアルコール消毒液の設置

9 お客様等とのコミュニケーション

【1】関係機関との協働

当社は、大山へお越しいただくお客様に楽しんでいただき、癒しのひとときをお過ごしになられますよう万全な運行体制で臨んでおります。伊勢原市消防本部から救急救助活動の協力要請があった場合には、【救急救助活動の連携に関する覚書】に基づき、ケーブルカーの支援運行を行っております。

【2】お客様の安全確保

お客様の階段歩行時や駆け込み乗車の注意喚起を実施するなど、ホーム上の安全確保に努めてまいりました。

今年度も、お客様による事故の未然防止を図るよう努めてまいります。

【3】お客様等からのご意見・ご要望

関係機関との連携を図り、大山へお越しいただくお客様等からのご意見・ご要望を収集し、社内で共有のうえ対応しております。

【4】その他

本報告書に関わるご意見、ご感想やご要望など下記の連絡先にお寄せください。

大山観光電鉄株式会社

(本社) 電話：0463-95-2135 FAX：0463-95-2482

(平日 9：00～12：00、13：00～17：30)

(大山ケーブル駅) 電話/FAX：0463-95-2040

(平日 9：00～16：30 土休日 9：00～17：00)

住所：〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山 6 6 7